

THE NEW FARMERS

ニューファーマーズ

◆郷土を興す農業者 ◆日本を伸ばす農業者 ◆世界を拓く農業者

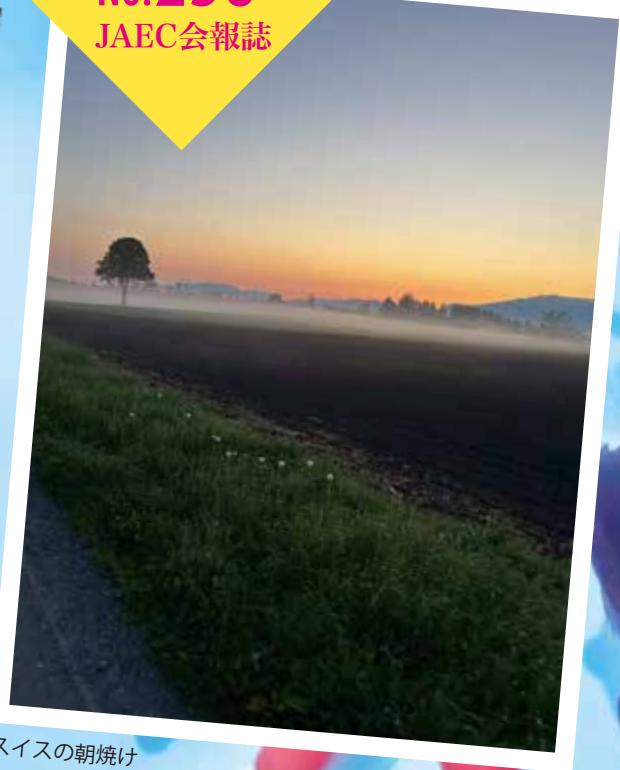
contents

常務理事挨拶	1
研修生からの便り	2・3
派遣業務	4
海外農村開発支援事業	5
ODA 研修生 OB も頑張っています！	6
特定技能2号移行試験結果	7
協会の動き	8



No.258

JAEC会報誌



ニューファーマーズ249号から、オンラインでもご覧いただけます。
本会ホームページで掲載するほか、Emailでも配信しています。

ニューファーマーズ No.258 |

2025年（令和7年8月）

ホームページ:<https://www.jaec.org>

フェイスブック:<https://www.facebook.com/jaec.trainee>



編集・発行 / 公益社団法人国際農業者交流協会

〒144-0051 東京都大田区西蒲田5-27-14 日研アラインビル8階

TEL : 03-5703-0251 (総務部) 03-5703-0252 (派遣業務課)

03-5703-0253 (活動支援課) 03-5703-0254 (受入業務課)

FAX : 03-5703-0255

混迷の世界で農業者の重要性を再認識

公益社団法人国際農業者交流協会

常務理事 吉川 隆志

(東京都/S54/米2)

例年よりも今年の各地の田植え時期や作付面積が気になっています。

令和6年に沸き上がった令和の米騒動ですが、今年になっても落ち着く気配を見せせず、いろいろな原因が挙げられています。コロナが落ち着いて外食に向かう消費者が増えた、インバウンド需要が増加した、パンや麺類の価格上昇により米にシフトした、夏の強烈な暑さによる減収、政策による減反や転作、生産者の高齢化や後継者不足による稻作面積の減少など、多岐にわたっていますがすべてが当てはまると思います。農業は生産に不足が生じたからと言ってすぐに調整することが難しい産業ですが、中でも気候変動やそこに携わる人の減少という理由による不足は米に限ったことではなく、今後、多方面から上がってくる問題ではないかと思います。世界で紛争が起り、自國第1主義を掲げる指導者が出てくる中、食料安全保障の重要性が増しています。その中にあって、人に食料を供給する大きな使命を担う農業人材を育成することの重要性はこれまで以上に高まっています。協会の大切な役割であることを肝に銘じ、これからも精一杯

の努力を続けてまいりたいと思います。

協会は、派遣事業と受入事業を中心に多くの事業を行っていますが、2007年にJICAの支援により開始した海外農村開発支援事業も徐々にその存在感を増しています。2021年3月からは、外務省の日本NGO連携無償資金協力による事業として、フィリピンにおける炭、木酢、堆肥の有効利用による持続型農業の普及活動と生産農家から消費地までの流通方法の改善に取り組む事業を行ってきました。コロナ禍やフィリピン大統領の交代などにより事業着手が大幅に遅れたものの、後半に何とか挽回し本年3月末日を以ってその活動を終えました。フィリピン農業省とタッグを組んで行ってきた4年に亘る事業活動では、持続型農業の普及とともに冷蔵施設を伴う集出荷場建設、これまでの食品ロスを最小限に抑える出荷・流通体制の構築などに取り組み、建造した施設、物品等は事業の終了とともに現地自治体に譲渡されました。以後は自治体管理の元にそれらが引き続き利用されることになります。多くの困難がありましたが、日本人の現地駐在員とフィリピン人のスタッフが協力して乗り越え一つの成果を上げられたことで、両国の農業をベースとした信頼関係が更に醸成されたと思っています。

協会では、海外農村開発支援事業を継続すべく新たな事業展開を検討しているところです。今後の活動にご期待ください。



研修生からの便り

そこに行くことに「意味」がある

北澤 凌大（山形県/R5/アメリカ）

研修農場: Gebbers Farms

こんにちは。私はアメリカ、ワシントン州のGebbers Farmsで研修しています。この農場はアメリカ国内でも有数の大規模果樹農家で、その規模は約5,000haです。これは私の地元の山形県の全さくらんぼ畠、約3,000haをゆうに超えます。視界に入る農場はすべてこの農家のものであると言っても過言ではありません。とにかく、想像を絶するほどに大規模です。

私はこの農場での研修を通して、大きく二つの衝撃を受けました。

一つ目は、効率、スピード重視であることです。例えば、一言に「剪定」と言っても、誰でもできるようにマニュアル化されていて、実際に働く人に特別な技術や知識を

求めないので、自ずと効率が上がります。枝の長さや芽の数などの指示に合わせて、ひたすら剪定します。もちろん丁寧さも必要ですが、スピードに重きを置いているのを実感します。

二つ目は家族愛です。この農場では農作業以外にも、高校生や小学生の野球の試合でハンバーガーを作る仕事も任されています。ち



マーケティングのボス夫妻と！



なみに、このハンバーガーに使われているパティは、同社肉牛事業の牛肉を使っていて、とても美味しいです。試合には、選手の家族が総出で応援に来ます。携帯のロック画面をその人の子供にしている人がたくさんいます。目に映る光景は最高にキュートで、愛に満ちています。

これらの衝撃は、私の中の世界の解像度を大きく引き上げてくれました。日本に留まっていたらで

きなかった経験は、書ききれないほどたくさんあります。ネットや映画などでアメリカの様子を知ることはできますが、実際にそこに足を運んで体験することには、何倍もの意味があると思います。まさに「百聞は一見に如かず」です。

ここで得た農業の知識や技術をすべて日本で再現できるとは思いませんが、アメリカでの経験を活かして、今後の人生をより色鮮やかなものにできると思います。この研修に関わっているすべての方々と、送り出してくれた家族に感謝しながら、残りの研修期間を一生懸命かつ楽しく過ごしていきます。



Gebbers Cattle の美味しいパティ

刺激的な毎日。研修を有意義なものにできるかは自分次第！

砂川 律（大阪府/R6/スイス）

研修農場: Zihlmann



お孫さんの誕生日会
と放牧地で過ごしているのを見ると本当に心が安らぎます。

作業は基本的に朝搾乳と朝夕の哺乳、牛床掃除や糞入れ等を固定の作業として任されており、それ以外は毎日色々な異なる作業を行っています。5月は牧草刈りの時期ということもありサイレージ作りが最も印象的な作業でした。私はバンカーサイロに牧草が敷き詰められていく光景と収穫された牧草の香りが大好きなのでとても楽しかったです。

私は現在スイスのザンヴィルという町の放牧酪農家で研修を行っています。この農場では飼養しているほぼ全ての牛を日中に放牧しています。私は放牧酪農について興味を持っていたため、このような農場に配属されたことがとても嬉しいです。牛たちがのんびり



サイレージ作りでトラクター運転中

私はまだまだドイツ語が上手ではないので、日々丁寧に教えて下さるシェフ達の言葉をより早く理解できるよう毎日頑張っています。作業中の特定の状況にだけ使われる単語の意味を、会話を通して理解していくのがとても楽しく、その単語を自分のものにできたときは成長を感じられます。作業では間違えることもあります、その時はしっかりと怒られますし落ち込みます。ですが約11か月しかない農場研修の中で落ち込んでいる時間はもったいないので、できるだけ切り替えて次に活かそうと意識しています。

シェフとシェフインには娘さん達とそのご家族が沢山いらっしゃるのですが皆さんイベントが大好きで、毎週日曜日は総勢18人皆で夕食を食べ、誰かの誕生日はパーティーを開き、休日には皆でハイキングに行くこともあります。本当に刺激的で楽しい生活を送させていただいています。

私は現在配属されて約2か月が経ちました。本当に毎日があっという間に過ぎていくため、少しでも悔いの残らないように沢山質問をして自分の学びを増やし、この研修を更に有意義な時間にしていきます。



研修生からの便り

自分のスキルアップを楽しむ!

馬場 言子（東京都/R6/アメリカ）

研修農場：安曇野ファミリー農産

私はいま長野県安曇野市の安曇野ファミリー農産にて、アメリカ渡航に向けて研修中です。こちらの農園では、25種類のりんご、梨、加工用ぶどう、ベリー類を栽培しております。畑がある場所は、標高が約650m、北アルプスの山麓です。

外で作業をしている際、こんなに素敵な場所で実習できるなんて、とても幸せだなー！と感じるほど、周りの山々や田んぼの風景にいつも感動しています。

主にりんご栽培に関する様々な研修をしました。3月は、りんごの木の上に傷をつける（芽傷）、苗木と台木の植え付けでした。降雪の日もあったので、収穫したりんごの選別や野ネズミ避けの網づくりなど、屋内作業もしました。4月は肥料撒き、誘引・剪定、フラン病の点検、野ねずみの毒餌撒き、花摘みをしました。5月はひたすら摘果です。

これらの研修で学んだこと



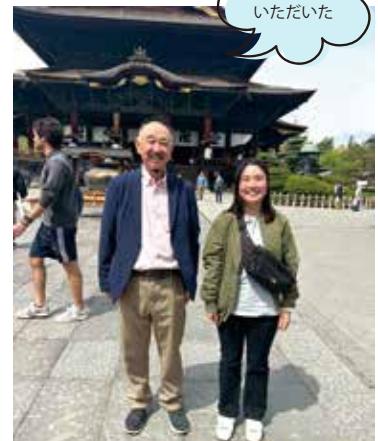
摘果作業中 標高が高い為日差しが強いです。
UVカットパーカーとサングラスが必須です。

は、常に向上心をもつことは、農作業をする上でも、とても大切だということです。特にこのことを実感したのは、剪定を教えて頂いている時です。

何十年も働いているベテランの社員さんに「何年くらいで一人前になれますか？」と聞きました。その返答は「自分で完璧だと思っている間は、完璧じゃないと思う。」ということでした。私はこの言葉を、剪定だけでなく、全ての農作業・知識の習得に通じるものがあると思いました。それ以来、主に2つのことを心がける様にしています。

1つは、作業中に自分でこうかな？と思ったことも、社員さんや技能実習生の方々に聞いてみると、自分が想定していた答えよりも、多くのことを教えて下さるので、とても勉強になります。2つ目は作業スピードが速い人をみて、自分もマネしてみることです。すぐに上達するわけではありませんが、発見が多いですし、より作業に集中ができます。

この研修で学んだ農業への姿勢・技術・知識を、存分にアウトプットして、アメリカでの研修もより良いものにできるよう頑張ります。



社長に善光寺を案内していただいた

北海道の研修について

北中 良汰（大阪府/R6/アプレンティスシップ）

研修農場：加藤太朗牧場（北海道）

僕は北海道十勝のなかにある広尾町の加藤太朗牧場というところで農業研修を受けています。息子の雄希さんが令和四年度ドイツのOBで、日々色々なことを教えてくださいます。

僕自身野菜や果樹などしか扱ったことがなく酪農は全くの初めて



加藤太朗牧場の表札



牛舎と夕焼けが綺麗な一枚



牧場で飼っている馬と晴天と牧草

でした。なぜ酪農を希望したかというとヨーロッパにすごく憧れがあり、特にスイスの自然や、環境にやさしい農業にとても関心があったので、スイスを希望しました。そしてスイスは酪農が盛んなので

未経験のまま行くのは厳しいと思い、このアプレンティスシップ制度を利用して経験を積もうと考えました。また、ヨーロッパに気候が近く酪農を盛んな北海道で実習した方がいいと思い北海道でヨーロッパOBの加藤さんのところで研修することになりました。

僕がお邪魔させていただいている加藤太朗牧場は、周りも牧場ばかりで見晴らしがよく、広々としていてすごく穏やかです。

加藤さんのところは放牧というよりも、牛舎で沢山の牛を飼って毎朝晚搾乳する施設型の酪農です。そのため毎朝晚牛舎の掃除と搾乳をセットで行います。そして牛舎の掃除が僕のメインの仕事です。

最初は何をしたらいいのか全くわからなくて戸惑うこともたくさんありました。徐々に仕事に慣れてなんとかこなせるようになりました。ただ毎日5時起きなので朝は早いです。しかしその分仕事も早く終わり、また昼はゆっくりと休憩させてもらえるのでありがたいです。

最後に僕が理想としている農業の形とは違う部分もありますが酪農についての知識や、技術、考えの違い、経営の大変さなどがすごく参考になっています。それらを活かしてこれから農業生活に役に立てると思います。



搾乳時の牛と僕

派遣事業

令和6年度 海外農業研修生

昨年度の農業研修生海外派遣事業では、スイス研修生が3月17日に、アメリカ研修生が6月28日に現地に向けて渡航し、それぞれの研修がスタートしました。

現在、スイス研修生は農業実習中で来年3月帰国予定です。



スイス研修生の春季会合は、いつもの農家民宿で



そしてアメリカには令和5年度の研修生（今年12月16日帰国予定）と合わせて2つのグループが研修中ということになります。

R6年度アメリカ研修生 BBCC オープニングセレモニー

農業教育高度化事業

農林水産省は農業教育高度化事業（国際的な農業人材育成のための取組）において、地域農業のリーダーとして、輸出や海外への事業展開等を担う国際的な農業人材を育成するため、海外農業研修の参加経費（参加経費の2分の1又は60万円のいずれか低い額で、本会のプログラムの場合概ね60万円となる見込み）に対して補助金を出しています。昨年度同様、協会が事業実施主体に選定され、全国の支援対象者の募集や審査・補助金交付窓口です。



AIG損害保険株式会社

AIG

CCA東京支店

担当 室田・石川・杉村

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F
TEL : 03-5637-0721 FAX : 03-3622-2040

海外農業研修の募集啓発活動へのご協力よろしくお願いします！

**Let's Talk
アグトレ!**

この前、大学の帰り道で、近所のおじさんが外國人の人と英語でしゃべってたんだよね。

ペラペラ
あー、スイカさん。
外國人と話しているー。

英語とか
無いしなー。

ただの農家のおやじと思ってたから、なんか、かっこよかったよ。

外國
旅行には
みたい
だいぼー

おかえりー
ただいまー

そのこと母さんに言ったら、スイカさんは昔、アメリカに住んでたんだって。すごいなって思ってたら…

何言ってんの、
あんたの父ちゃんも
アメリカで農業研究し
とったんよ。

えへへ
って、なったよ！
そんな身近か、外國って！

黒屋については、まあ、ちょっといいかなって思ってたけど、そのまま就職しちゃっていいのかなって、少し思ってたわけ。
スイカさんに本当にその気持ちを伝えたら、肯定でも海外農業研修行けるっていうんだよね。
ちょっと、ありかもなーって、考えてんの。

できるかできないかばかり考えがちだけど、できるできないじゃなくて、やりたいって気持ちに気付くのが大事なのかな。
あの人は特別だ、じゃなくて、優もいい感じじゃんって、言えるようになりたいな。

登場人物

擬人化した
アグトレな人々

田舎の農家の
すいかさん
いざなっこ
る若菜
たけ
スイカ
Yellow
Leek

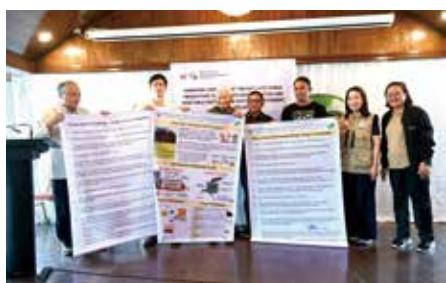
海外農村開発支援事業

フィリピンで安全野菜生産技術の普及と 野菜流通改善に貢献

2021年4月よりフィリピンにおける炭と木酢、堆肥を効果的に利用した安全野菜生産技術を普及する活動と流通過程におけるフードロスを削減して農家の所得向上を目指す流通改善活動を実施してきましたが、2025年3月をもって予定の業務を完了しました。この事業は、外務省の日本N G O連携無償資金協力による政府開発援助（O D A）の資金供与を受け、フィリピン政府農業省と共同して実施されてきたもので、ベンゲット州ブギアス町での冷蔵施設付きの集出荷場建設を始め、従来のソフト面の支援に加え、建物やトラックなどのハード面の支援を含めた活動を行いました。今年3月19日、当事業の完了と当事業で建設した冷蔵倉庫（集出荷場）や冷蔵トラック、炭を焼き木酢を得る炭焼き窯などを各自治体に譲渡することを祝う式典が催されました。この式典には、在フィリピン日本大使館の赤坂英則一等書記官（農業担当）をはじめ、ベンゲット州のメルチョール・ディクラス知事、ブギアス町のルーベン・ティンダアン町長、フィリピン農業省のジョイセル・パンリリヨ次官補、

ならびに本事業を主導した公益社団法人国際農業者交流協会（JAEC）の五月昌巳会長、坂元良二理事らが出席しました。

この事業は、従来の化学肥料や農薬を多投することで疲弊する土壌では持続型農業を維持することが難しくなるとの視点から現地で得られる材料を利用して炭、木酢を作り、堆肥との効果的な利用によって安全かつ将来に続く持続型農業を実現させようということに加え、せっかく優れた野菜を作ったにもかかわらず流通過程において重量比で40%前後のロスを出してしまった流通の現状を改善しようとした活動です。事業の詳細と成果については、協会ホームページに掲載予定です。



譲渡式典より

備えの種をまこう。



農業保険や地域の話題
たくさん載せて
ポストに届くよ



月4回・水曜日発行 年ぎめ
5520円(送料共)



安心のネットワーク
NOSAI

購読のお申し込みは、最寄りの農業共済組合または農業共済組合連合会、全国農業共済協会へ
発行所=公益社団法人 全国農業共済協会 東京都千代田区一番町 19 番地 TEL 03(3263)6413

ODA研修生OBも頑張っています!

ルングルエング・ポンポーナットさん (タイ東北部ナコンラチャシーマ /2022年度)

受入農家 林昌平さん(沖縄県/H25/米コンビ)

私が日本で学んだ一番重要な事はシステムティックに物事を考える事と計画する事です。また私は日本人の人々が四季をとても大切にすることを素晴らしいと思っています。そして私はこの四季を大切にする考え方を私の農場の考え方として取り入れています。そして、私は今、毎日の生活費を得るために養鶏を行っています。そしてまた私は1.28haの農地でジャスミンライスも栽培しており、0.8haの農地でグアバ・ココナッツ・タイイチゴ・地元の野菜も育てています。更に、私はアグリツーリズムビジネスも行っています。このビジネスでは3つの宿舎を用意しレストランも毎週末に経営しています。また、私は現在、高いレベルの養鶏技術を使って養鶏の規模を拡大する事に取り組んでいます。この取り組みにより、卵の生産量を増やすと共に、より多くの人がサプライチ



鶏のお世話



ーンに参加できるようになりました。更に、私はアメリカミズアブを使ったシステムを導入しています。これは、コミュニティにある食品



アグリツーリズムの3つの宿舎

残渣で育てたアメリカミズアブの幼虫をニワトリの餌として使うものです。これを行う事によりコミュニティでごみになってしまふ食品残渣が減り、ニワトリにはタンパク質が豊富

な餌を提供する事ができます。このシステムはコストを減らすだけでなく、将来有機質のごみをゼロにするという私のビジョンにも合致しています。

リチャードグティエレズヴィリアノエヴァさん

タラグナ県(首都マニラの南部に隣接する県)の南部のサンパブロ町にあるサンイシドロ村 /2023年度)

受入農家 今野健司さん(宮城県/H25/米コンビ)

私はお父さんから適切な定植するために時間を管理する事と様々な準備をするために時間を管理する事を学びました。これらの考え方方が私が日本の研修で学んだ一番重要な事です。私は今年は1haの土地にナスを植えました。私は今、日本でも使っていた、トラクター、草刈り機、噴霧器を使ってナスを育てています。私が今集中して取り組んでいる事はナスの定植と農業に関わりのあるビジネスを起こす事です。



日本での研修



ナスの苗

海外研修生の皆さん、私たちと一緒に働いてみませんか？



植物の国際ブランド“PW”をはじめ
グローバルなビジネス展開をする種苗会社です。
海外研修生OBが最前線で活躍しています。

Hakusan 株式会社ハクサン

〒470-0104 愛知県日進市岩藤町三番割321-1 TEL.0561-75-5777(代)

採用情報は
こちら▶



特定技能2号移行試験初めての合格者が出来ました！

(正式名称：2号農業技能測定試験)

弊会が登録支援機関として支援している特定技能外国人のアリソカレン ティラドさん（以下、カレンさん）が、特定技能2号へ移行する際に必要となる試験に1回で合格しました！弊会の特定技能外国人では、初めての合格者となりました！

そこで今回、カレンさんと受入農家である風間久治さんからコメントをいただきました。



機械準備の様子



ハウス内の作業の様子



夕食時の1コマ！
(写真左手：受入農家風間久治氏 右手：カレンさん)

写真補足：農場主は風間さんですが、試験にも合格し農場での経験も豊富となったカレンさんが現在、作業計画を作成したり作業指示を風間さんや同農場の実習生に出し、農場を引っ張っています！！

Q. 特定技能外国人制度とは

特定の産業分野において、一定の専門性・技能を有する外国人受入を目的としており、2019年4月から開始された制度です。在留資格「特定技能」は1号、2号の2種類があり、1号は通算上限5年まで。2号については制限なく日本に滞在することが可能となります。

Q.2号農業技能測定試験とは

特定技能1号が特定技能2号に移行するために合格しなければならない試験であり、熟練した技能を持つ外国人であるかが測定されます。この試験は「耕種農業」と「畜産農業」の二つに分かれており、合格率は約3割程度と大変難しいとされている試験です。（運営：一般社団法人 全国農業会議所）

カレンさんからのコメント

Q. テストのためにどんな勉強をしましたか？

試験に備えて、インターネットで教材を調べて紙に印刷していました。理解できない言葉は英語で翻訳して確認し、理解しようとしながら何度も読んでいました。そして、それらをより理解するために受入農家にも質問をして理解を深めました。

Q. テストは、どうでしたか？

日本の農業の広い範囲をカバーするためとても難しく、教科書がない問題もありました。また、試験時間は1時間しかなかったので、時間との競争でした。いくつかの問題文は短かったです、選択肢は長い文章だったので、それらを読んで理解するのに時間がかかりました。

Q.SSW2号として、これから的新しい目標はありますか？ (これからの抱負を教えて下さい)

日本の農業を学び続けたいと思います。私たちが日々生きる中で、仕事であろうと日常生活であろうと、私たちは新しいことを学び、新しい課題に出会い、これらの課題を克服することで満足感を得ることができます。「経験は最高の教師です」。

カレンさん：2015年に来日し、技能実習1号から3号までの5年間を実習生として、そして現在の特定技能1号も含め、風間さんの元での滞在歴は今年で10年目となります。

受入農家からのコメント

難しい試験に1度で合格できるとは相当努力した証拠です。
皆の先陣を切るカレンをリスペクトします。

（風間久治氏／長野県川上村・施設園芸）

技能実習・特定技能外国人受入農家募集中

※受入適正確認のため、一度現地へ訪問させていただきます。

○技能実習外国人受入

対象国：フィリピン（一部タイ）

在留資格：技能実習

滞在年数：3年（受入農家が要件を満たせば最長5年可能）

初年度費用概算：約90万円

2年目以降費用：約31万円

※別途監査訪問費用、毎月の給与支払分が追加。

配属開始：毎年4月上旬（固定）

※受入希望の場合、前年の2月頃までにご相談ください。

○特定技能外国人受入

対象国：フィリピン、タイ

在留資格：特定技能

滞在年数：

特定技能1号＝通算5年以内

特定技能2号＝上限なし

初年度費用概算：約80万円

2年目以降費用：約31万円

※別途監査訪問費用、毎月の給与支払分が追加。

配属開始：応募状況による（通年対応可能）

配属開始：人選確定から最低6ヵ月～

ご検討やご相談、ご質問がございましたら、受入業務課のメールアドレス（asean0254@jaec.org）またはお電話（03-573-0254）にてお気軽にご連絡ください！



より詳細な情報は
こちらから

協会の動き



関係者の訃報 ~石井 清 元会長のご逝去~

令和7年1月14日逝去、享年88歳。昭和36年度米1実習生OBで、ぶどうや梨などの果樹生産に携わるとともに、伊勢原市農業協同組合理事、神奈川県農業協同組合中央会会長などを歴任され、2011年から2017年までの6年間は本会の会長として手腕を発揮されました。若い職員が気兼ねなく接することができましたのも石井さんの温厚で気さくなお人柄によるものでした。慎んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

皆様いつもニューファーマーズをお読みいただき誠にありがとうございます。
冊子の作成ご意見ご感想等いただけますとありがたいです。



令和6年11月6日以降 (NF257にて紹介後) に御寄付頂いたのは次の方々です。 (令和7年6月20日現在)

北海道/榎本一壽 田中滋久 奥田豊 佐々木哲次 棚栄正 出倉利彦 高田浩 安田弘孝 蜂須賀俊光 高橋貞光 濱口俊行
町田哲 青森県/内山克弘 吉田秀美 岩手県/伊藤善光 宮城県/松崎安典 秋田県/小林肇 高野宏 茨城県/上野竹生
山田孝雄 栃木県/伊藤直樹 埼玉県/柴崎久男 石井豊史 千葉県/西村由美 岡本哲哉 木村政幸 東京都/高杉晋一
神奈川県/相澤文治 真垣哲男 石渡康郎 和田良一 新潟県/松原守 富山県/杉本明雄 石川県/南出清司 福田進 山梨県/
羽田稔 長野県/米澤寛片桐達司 笠原則芳 岐阜県/石垣辰己 静岡県/野澤義雄 清貢 小野田澄弥 愛知県/横山賢一
北村勲司 滋賀県/平井貞夫 北村進一 京都府/中野宏 大阪府/梶本定敏 兵庫県/谷義久 加藤寿之 奈良県/水田恵一郎
鳥取県/梅津博文 島根県/安達順 佐佐木幸雄 岡山県/則武宣幸 立間政史 広島県/森田幸秀 栗田賢 徳島県/赤澤彰
楠正人 香川県/松本弘 菅原正行 間嶋亨 國方弘 愛媛県/増本卓夫 島津政良 高知県/加藤家広 福岡県/安武昇
太田英樹 佐賀県/西村義己 稲富篤 長崎県/里崎徳一郎 熊本県/荒木康麿 後藤治幸 今井清志 鹿児島県/岸広光 板元岩雄
沖縄県/名嘉重則 仲本英宏 海外/橘慈子 (順不同 敬称略)

また同じく 今回新たに賛助会員へ入会された方々です。

愛媛県/広沢初志 (順不同、敬称略)

令和7年度通常総会

令和7年度通常総会が令和7年6月11日に東京四ツ谷の主婦会館で開催され、下記の議案が原案通り承認されました。決算書類等は協会のHPで閲覧できます。

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支計算書類の承認
第2号議案 役員の特別手当支給割合の変更
第3号議案 次期役員の選任

執行役員の選任

通常総会終了後直ちに臨時理事会を開催し、新役員により執行役員の互選を行いました。

代表理事：五月女昌巳(会長)

副会長：村上秀徳(副会長)

執行理事：吉川隆志(常務理事)

また、顧問を野中和雄氏にお願いすることとなりました。

執行役員の選任

令和7年5月20日に基金管理運営委員会がオンラインで開催され、国際農業交流事業推進基金の運用報告及び今後の方針等について話し合わせました。なお、任期満了により、下記の方が新委員に任命されました。

委員：大井圭吾、高見澤宣男、岩田雅昭、檜垣真城、五嶋義行、井上源一、一箭拓朗、栗田賢(敬称略、順不同、任期2年)

藤森英明委員、中村隆宣委員が退任されました。大変お世話になりました。

役員の改選

本年度通常総会を以って任期満了となった本会役員の改選が同通常総会において行われ、新たな役員が決定しました。(順不同、敬称略、任期2年)

理事：稻垣照哉、岩田雅昭、大井圭吾、岡田征雄、五嶋義行、糸野和成、五月女昌巳、高見澤宣男、檜垣真城、別所智博、三簾久夫、村上秀徳、元廣雅樹、吉川隆志

監事：監事の任期は4年であり、今回、改選は行われませんでした。

岩元明久理事、坂元良二理事、藤森英明理事、三国貢理事が退任されました。

大変お世話になりました。

協会人事

【職員の退職】お疲れ様でした

令和7年3月31日 児玉広志(海外農村開発支援事業専属職員)

令和7年5月31日 吉田誠也(海外農村開発支援事業専属職員)

【職員の入社】よろしくお願いします

令和7年4月1日 片山翼(業務部派遣業務課、R4/アメリカ/神奈川県)

賛助会員・寄付のお願い 国際農業者交流協会の活動をご支援ください！

●賛助会員

本会の活動にご賛同いただき年会費によって本会を支えて頂いております。希望される方は、協会までご連絡ください。または、同封の払込取扱票によりお申込み下さい。

●寄付金

本会への寄付金は、公益目的事業の運営に用いることと定められています。ご寄付にあたってはゆうちょ銀行(同封の払込取扱票)又は、銀行振込(振込手数料はご負担ください)をご利用いただけます。

払込取扱票	銀行振込先口座
<p>ゆうちょ銀行</p> <p>加入者名：公益社団法人国際農業者交流協会</p> <p>口座番号：00110-8-538246</p> <p>◆領収証送付のため、通信欄にご芳名、ご住所、電話番号をご記入ください。</p>	<p>みずほ銀行 蒲田支店</p> <p>普通：3106914</p> <p>口座名：公益社団法人国際農業者交流協会</p> <p>セイ)コクサイノウギョウシャコウリュウキョウカイ</p> <p>◆領収証送付のためにご芳名等がわかるようにお振込みください。</p>

賛助会員及び寄付者には、税額控除団体の証明書と共に領収証を翌年2月中旬までに送付しますので、確定申告にて税額控除を受けることが出来ます。

また、公益法人への寄付に関する詳しい説明のあるページをご紹介します。

https://www.koeki-info.go.jp/pictis_portal/other/zeisei.html

賛助会員・寄付金へのお問い合わせはこちら 電話番号 03-5703-0251



国際農友会 会報誌

Vol.32 contents

ご挨拶	1
各ブロックからの報告	
東北・関東	2
東海・中四国	3
九州	4
天地人	4
第3回蒲島氏講演	5
令和6年度活動報告	6
仲間たちの商品紹介	7
会員のひろば	8



海外農業研修プログラムは、国際情勢や国内の社会構造、とりわけ少子高齢化といった課題に大きく影響を受けています。今年度は、欧州各国と米国の合計3か国での研修が用意されています。ドイツとオランダでの実施は見送られることとなりました。長年続いてきた研修地が減少するのは寂しい限りですが、5月には新たにニュージーランドのプログラムが加わりました。今はまず地に足の着いた安定的な事業運営を、主催する国際農業者交流協会に期待したいと思います。

そしてOB・OGの活動活性化に力を注いでまいります。皆さまのご支援とご指導に、あらためて心より感謝申し上げます。

この2年間でどれほど日本の農業に貢献できるのか、簡単なことではありませんが、できる限りの力を尽くす覚悟です。皆さまと共に、農業の未来を支える人材を育み、強くしなやかな農業社会の実現を目指してまいります。



国際農友会 会長 榎垣 真城（愛媛県 / H3 / デンマーク）

変化を恐れず、未来をつくるために —海外農業研修と人づくりへの思い—

このたびの総会を経て、皆さまのご信任により、引き続き会長職を務めさせていただすこととなりました。2期目となる本任期では、海外農業研修のさらなる推進、そしてOB・OGの活動活性化に力を注いでまいります。皆さまのご支援とご指導に、あらためて心より感謝申し上げます。

一方、国内では4月以来、大企業を中心に初任給が大きく引き上げられ、就職市場が若者にとつてかつてないほど魅力的な場となっています。しかしその裏では、いわゆる「退職代行」という新たなビジネスが流行するなど、職場への失望や不適応も見え隠れしています。

ただ、期待と現実とのギャップに直面するのは、海外農業研修でも日常茶飯事です。文化の違い、言葉の壁、そして農作業の厳しさ。そんな環境の中でも、研修生たちは自らの成長を信じて一步ずつ歩んでいます。自分が変わることを恐れていては世界は変わらない。誰かが変わるのが待っていても、何も起きない。この言葉は、私自身の経験に基づく実感でもあり、国際農友会のこれから姿勢にもつながる思いです。

派米農業実習の思い出と青森県国際農友会の運営見直し

青森県国際農友会 会長 鈴木 茂(青森県/S55/米1)

今から45年
(1980年)4月、グレイハ
ウンド・バス

がワシントン州タコマ市のバス
ターミナルに到着すると、ボス
夫妻が出迎えに来てくれています
した。翌日から、40エーカーの
畑でレタスの移植作業が始まり
ました。機械による移植だと思
つっていましたが、手作業でした。
不慣れな作業で、体を酷使した
せいか、翌朝、体中が筋肉痛で
ベッドから起き上がるの大変
でした。しかし、人間の体はす
ごいもので、1週間位ですつか
り慣れてしましました。

ボス夫妻は、日系2世でよく
面倒を見てくれました。ボスは、
仕事の休憩時に近くのカフェに
ピックアップで連れて行つてくれ
ました。その時に言われた「人
生はいいことばかりではないが、
悪いことばかりでもない。」は、
今でも心の中にしつかりと残っ
ています。

さて、青森県国際農友会の会
員は、10年前には200名近く
ありましたが、高齢などによる
退会者が相次ぎ、2025年4
月段階で62名と激減しました。
これまで、総会、研修生の帰

国報告会、海外からの研修生との懇談会、それらを記事にした
会報の発行などを行ってきました。
しかしながら、会員の減少
により、会費の収入が大幅に減
り、会の運営そのものが難しく
なっているのが現状です。一方、
会の存続を強く希望する会員も
少なからずあることから、今年
度は、今後の会のあり方を模索
し、新しい組織運営について協
議していくことにしています。



弘前大学での啓発キャラバンの様子

グラントリー大地の空中いちご園視察
(常総市)令和6年度関東甲信静越ブロック国際化対応
農研会 (つくば市ホテルグランド東雲)

組織活動の思いと営農研究会

茨城県国際農友会 会長 林 淳一(茨城県/S54/米1)

茨城県国際農友会は、昭和34年4月に発足し、66年の歴史を重ね約260名のOB、OGが県内各地で活躍をしています。しかししながら、帰国後の農友会の活動となると特にコロナ禍以降は、充分な活動ができるいないのが我が県の現状であります。前任の木名瀬氏より大役のバトンを受け早や三年、会員の会費未納対策、役員のなり手不足そして、アゲト参加者搜しと難問解決の為、微力ではあります。奮闘する日々が続いております。自分が渡米した45年前の若き日の熱い思いを回顧し、一人でも多くの後輩づくりと、帰国後のOB、OGの組織活動の活性化の為に寄与できればと考えております。

そのような思いの中で、過日、令和7年1月30～31日に一泊二日目の日程で本県のつくば市、常総市において、令和6年度関東ブロック営農研究会を開催させて頂きました。今回は例年二日研修に是非とも会長の皆さんに参加していただきたいという強い思いのもと、一日目の午前中

に開催し、午後から協会事業報告と畜産アンバサダー発表、本県OB「現在からみたあの頃」福島将也氏(H17オランダ)、「カトレアで世界中笑顔にしたい」山野井喜仁氏(S63オランダ)お二人に事例発表をしていただきました。お二人とも妻君は本会OGの方で、私の知る限り今回本県最適任者の発表者だったと思つております。そして、結びに基調講演は「日本食品及び農林水産物のアメリカへの輸入の現状について」「ブルーロビング副社長小幡隆人氏の心に残る講演となりました。二日目は常総市の中いちご園「グラントリー大地」と、ソフトバンクの巨大資本での周年ミニトマト栽培を行った「たねまき常総」二ヶ所の近代施設園芸の模範となる農業を視察していただき、つくばエクスプレスつくば駅で解散となりました。今回は約100名の皆さんの参加ではあります。だが、今後はもっと多くOB、OG皆さんに参加いたたかぎ、海外農業研修事業で繋がったご縁を今後の人生に生かして欲しいと熱望いたします。

大阪府国際農業交流協会の再開と再生

大阪府国際農業交流協会 会長 森本 史郎(大阪府 / S60 / 米 2)



、事務局や援助する団体等もない近畿・北陸3県対応営農研究会にてきました。有るもの、営農研についての知識もならご指導いただかがら、また前会大坂府からも運びとなり、満運がなれば、大阪府やJA全農大阪様から、当研究会の存在自体も忘れられていましたかもうと、営農研究会のホストを拝命し、色々と大変でした。が、ご参加いた

大阪府国際農業交流協会は、会員の減少に伴い2012年に一旦活動を休止後旧体制が解散しました。協会本部より2015年に府下在住のOB・OGに再開の呼びかけをいただき、一部の有志により2016年に再結成したばかりのまだ駆け出しひの会であります。

一日活動を休止してしまうと、再開に向けて多くの問題がありました。まず旧体制時にお願いをしておりました事務局の再開ですが、大阪府庁やJA全農大阪様に事務局のお願いに伺いましたが、一旦解消した業務委託につけては再開不可能であり、受け入れていた。ただくことは叶いませんでした。また双方に活動費等助成に関して御伺を立ててみましたが、一旦解消された案件の再開は非常に困難であるとの回答でした。

現在、会長として7年目にに入りますが、今後の活動としてキヤラバン活動としては各都道府県単位として活動し、その他の活動を近隣都道府県の交流協会と連携して行事等を行なえるよう協会本部主導で配慮していくただき、昨今の研修生の減少する中、研修生にとつても、現役の会員にもプラスに働き、ひいては協会全体の減退に歯止めがかからぬのではないかと思ふ。OB・OG諸先輩より継承した歴史を継続しつつ、現在の研修生の環境に順応できるよう今後の活動を継続していきたいと思います。

の奈良県国際農業者交流協会様のご協力の下、研修生の送迎会を協同で開催させていただきました。参加者も研修生も横つながりができ、研修生の歓送迎会を都道府県単独よりもう少し大きな範囲で開催することにより、研修生も在来の会員同士も横の繋がりができ、研修生の帰国後の繋がりもそうですが、現会員の減少の対策また、新会員の定着に繋がるのではないかと思いま。

ただいた会員様、協会様には感謝するとのともに、当会のためになつたのではと思います。おかげを持ちまして、その後大阪府庁と幾度か会見を持つことができ、事務局等の業務委託はかないませんでした。が、海外農業研修ガイドブックの問い合わせ先について大阪府環境農林水産部農政室推進課に変更以前は、大阪府のみ問い合わせ先が交流協会でした。していただき、また、大阪公立大学や府立高校の関係学科へのガイドブックの配布業務を受諾いただき、大阪府のホームページより交流協会へのリンクも貼つていただけま

令和6年度中国・四国ブロック国際化対応専門研究会 岡山大会

岡山県国際農業交流協会 会長 石原 直樹 (岡山県/H6/米2)



左：吉永氏、
右：吉川氏、
中央：松田会員



記念撮影

発表は『畜産ティーン育成プロジェクト』で渡豪された高校生畜産アンバサダーの5名。岡山県組織の松田くんはヨルダーナン王国農場での勤務など熱い想いで登壇しました。

ご講演は静岡からアメリカ研修O Bのキウイフルーツカントリーリー Japanの平野耕志様が地域貢献とアフリカ海外貢献を両立された素晴らしいお話を。鳥取から農業界の強い発信者Y o u Tuberでもある、先進技術農家の農業法人トウリーアン

10年ぶりの営農研究会を開催しました。『やるからには全力を尽くそう!』と、多くの農業関係者、農業や食に興味のある方々など、広くもご参加を募つて2000人規模の会場に決めて『アグリフオーラム2025国際化する日本農業の挑戦—強い担い手育成へ』と銘打つて開催させて頂きました。

ドノーフの徳本修 一様の高い技術と海外進出の熱いお話を。そして30年以上に渡つてアメリカ研修を支えて下さった元J A E Cアメリカ支部長の吉永巧様にご登壇頂きました。

1年前から岡山組織の仲間みんなで何度も何度も顔を合わせて打ち合わせを行いました。10年前の経験を思い出して、どういう会にするか?何が必要か?チラシや席札、垂れ幕など細かい多くの準備を重ねました。当曰みんなで会場を設置し、パソコンで発表の準備も出来て、『これで今日一日大丈夫だ』と、やつとホッと1年のプレッシャーから開放されました。忙しい日々のなか、黙々と献身して下さった岡山組織の仲間を強く誇りに思っています。改めて団結力も強くなりました。



左：徳本氏、右：平野氏

組織活動報告

熊本県国際農友会 会長 東 浩昭(熊本県/S57/米2)

キヤラバン活動では、県立農大（5月・11月）・東海大学（6月）・熊本キャンパス、臨空キヤノンパスを毎年訪問し海外農業研修の概要を説明、帰国したばかりの研修生のフレッシュな体験発表を行い延べ100名程度の学生へ海外農業研修のPR活動に努めています。また、昨年からの取組で11月の県立農大の学園祭にテンント1張りを準備いただき角田真一郎農友会青年部長（H6／米2）を中心に会員が生産した農産物を販売し海外研修に興味ある学生さんには三者面談的な相談（学生・先生・保護者）を行い海外農業研修の魅力を発信しています。

本県国際交流祭典へ
の協力のもと活動し
毎年の通常総会の
演会を行い最近では
で農業技術専門家
ネパール・ブータン
へ貢献されブータン
国王より「國家
貢献勲章」を授賞
された富安裕一氏
(S 45 / 米 2) 演題
「ヒマラヤ山麓の果
樹栽培」、前熊本県
知知事、蒲島郁夫
氏(S 42 / 米 2)
演題「蒲島県政 16
年を顧みて」等、
今までの経験談を
交えての講演で、
あらためて派米研
修のすばらしさを

熊本県国際農友会は、設立(S27)以来73年の歳月を重ねる伝統ある組織です。年間の主な行事は、総会・理事会・講演会・キャラバン活動・海外研修生受入・農産物直売会・熊本



青年部農産物直売会

主な活動を紹介しましたが、会員はもとより事務局である熊本県農林水産部担当の手支援課をはじめ多くの皆様のご支援ご協力により継続的に農友会活動ができるようになりました。感謝いたします。

これからも多くの若者へ海外農業研修の魅力を発信し、多くの仲間と語り合い共に熊本県国際農友会、日本農業の栄光に向かっていきます。皆さんのお応援よろしくお願いします。



農大での学園祭での様子
農産物はすべて完売です。

スター・パンフレット等を設置し海外農業研修のPRを行い更には、会員同士の情報交換の場ともなっています。

地区行事、農友会活動（親
しいに盛り上がりります）の
阿蘇の大自然の環境で研
究中です。物販売会は、青年部活動の
熊本県国際協会が主催し熊
本市の繁華街で開催され
る「熊本県国際文化交流祭
典」に出店しています。熊
本県国際農友会の、の
ぼり旗を掲げ会員が生産
した新鮮な農産物（米・
トマト・いちご・みかん・
しおが・すいか・きゅ
うり等々）を特価で販売
し毎年好評で楽しみに来
場されています。また
祭典でのパネル展示ブー

イリピンの研修生2名、3名を受け入れています。阿蘇市の河瀬靈園
雄氏（S45／米1）水稻・肉牛（肥育）、中川利美氏（S45／米2）
肉牛（放牧繁殖）の農場で1年間の同居（ホームステイ）生活を通して

天地人

地場産農産物を地域へ

國際農友会 理事
藤森 英明（東京都/H2/米2）

自分が所属するJAでは、地場産農産物を地域で消費する取り組みを進めている。まず力を入れているのは、学校給食への出荷である。10年以上前から取り組み推進が始まり、現在では、給食に使われる地場産食材の割合は30%を超えるまでになっている。学校給食への出荷は、生産者にとってどんなメリットがあるか？

①生産者の顔が見る安心安全な食材を子供たちに食べてもらうことで、身近に農地があり、農業があるということを知ってもらえる。

②都市部では、庭先販売も多く行

A wide-angle photograph of a well-maintained flower bed in front of a modern, multi-story building. The flower bed is filled with a variety of colorful flowers, including shades of red, pink, white, and blue. In the background, there are trees and a parking lot with several cars. The building has large windows and a clean, contemporary design.

われているが、品揃えを多くするために多品目を生産する必要がある。学校給食では前年度の実績などをもとに「何が」「どれくらい」使われているのかが分かるので、給食で多く使われるジャガイモ、ニンジン、タマネギなど品目数を絞った計画的な作付けができる。

③出荷用のコンテナを使うので、個包装をする手間が掛からない。

地場産農産物を地域で消費する取り組みは、食材だけではない。地元で生産されている花苗や植木も地域で使う取り組みが進んでいる。年に2回、市内の駅前や公園、公共施設の花壇に地場産の花苗を供給している。また毎年一校ずつ、市内の小中

学校の花壇を再整備して、子供たちに花にも触れあう機会を増やしている。その他にも収穫体験、寄せ植え教室なども定期的に行われており、参加者に身近にある農業をアピールしている。

このような取り組みを通じて子供たちに農業に興味をもってもらい、将来海外農業研修に参加して、農業を目指す若者が増えればと思っている



夏花ニチニチソウ

蒲島郁夫熊本県知事退任記念講演

前熊本県知事 蒲島 郁夫（S42年度米2）

私が県知事選舉に初出馬した時、熊本には高速の横軸がありませんでした。例えば大分と熊本の間、宮崎と熊本の間に高速公路がなかった。私は一期目のマニユフェストで全ての道は熊本に通じる、という政策を約束していました。でも、1センチもなかった。しかし、災害対応の負担の最小化のもとの中九州横断道路、九州中央自動車道が建設され今も全力で建設が進んでいます。

この高速道路があつたからこそ、熊本の発展の基礎となるTSMC（台湾の半導体製造企業）の工場が出来たと思います。今はとても熊本は良き流れの中にあります。この良き流れもやっぱり立派に作つていかなきやいけない。より大きくしていかなきやいけない。これがやはり知事としての仕事だと思います。これまで3つの課題を1期目で解決し、2期目にくまモンが誕生し、そして3期目に三つの困難を乗り越えた。そして創造的復興をやり遂げようと思つた矢先に、今度は四つ目の困難が来ました。7月豪雨災害の球磨川流域の大洪水です。この大洪水をどうやつて解決するかというのが大きな問題でした。2008年に私は川辺川ダムの白紙撤回を宣言しましたが、それで本当に良いのだろうかと間違つていなかつた

ませんでした。例えば大分と熊本の間、宮崎と熊本の間に高速公路がなかった。私は一期目のマニユフェストで全ての道は熊本に通じる、いう政策を約束していました。でも、1センチもなかった。しかし、災害対応の負担の最小化のもとの中九州横断道路、九州中央自動車道が建設され今も全力で建設が進んでいます。

この高速道路があつたからこそ、熊本の発展の基礎となるTSMC（台湾の半導体製造企業）の工場が出来たと思います。今はとても熊本は良き流れの中にあります。この良き流れもやっぱり立派に作つていかなきやいけない。より大きくしていかなきやいけない。これがやはり知事としての仕事だと思います。このためにはどうしても流水型ダムが必要でした。

流水型ダムとは、いつも水はダムの下を流れてダムには溜まらないけど、ひどい雨が降り始めたらダムのゲートを閉めて水を溜め、ピークが過ぎた後放流する仕組みのダムです。そういう非常に環境に優しい流水型ダムを国に対してもう一つは肥薩線、元々JRはやりたくないと言つっていましたが私は「いや、とても大事だからやりましょう」とお願いしました。これもJR九州にやつていただきとなりました。

ただ、私が一番苦労したのは、五木村の方々の同意をいただくことでした。五木村の皆さん是最初ダムを作ることに同意していましたが、その後私がダムを作らなければなりません。でも計算したら10年間で1000億円以上かかるのです。そんなお金はないかもしれません。そこで岸田首相にはつきりと申し上げました。「そんなお金ありません。これは国の大事な国策なのでぜひ国の方で支援をしてほしい」と。そしたら、素晴らしい答えが返ってきました。

单年度予算の国なのに複数年かけて安定的に熊本県への支援を約束してくださいました。このように、創造的復興が着々とできましたが必ず知事には任期があります。私にもつとやりなさいつていう声が大きかつたんですけど、2023年の12月6日に、私は「次の選挙には出ない」と宣言しました。それは若くて有能力人が今の段階で後を繼いで、

私が県知事選舉に初出馬した時、熊本には高速の横軸がありました。例えは大分と熊本の間、宮崎と熊本の間に高速公路がなかった。私は一期目のマニユフェストで全ての道は熊本に通じる、いう政策を約束していました。でも、1センチもなかった。しかし、災害対応の負担の最小化のもとの中九州横断道路、九州中央自動車道が建設され今も全力で建設が進んでいます。

この高速道路があつたからこそ、熊本の発展の基礎となるTSMC（台湾の半導体製造企業）の工場が出来たと思います。今はとても熊本は良き流れの中にあります。この良き流れもやっぱり立派に作つていかなきやいけない。より大きくしていかなきやいけない。これがやはり知事としての仕事だと思います。このためにはどうしても流水型ダムが必要でした。

流水型ダムとは、いつも水はダムの下を流れてダムには溜まらないけど、ひどい雨が降り始めたらダムのゲートを閉めて水を溜め、ピークが過ぎた後放流する仕組みのダムです。そういう非常に環境に優しい流水型ダムを国に対してもう一つは肥薩線、元々JRはやりたくないと言つっていましたが私は「いや、とても大事だからやりましょう」とお願いしました。これもJR九州にやつていただきとなりました。

ただ、私が一番苦労したのは、五木村の方々の同意をいただくことでした。五木村の皆さん是最初ダムを作ることに同意していましたが、その後私がダムを作らなければなりません。でも計算したら10年間で1000億円以上かかるのです。そんなお金はないかもしれません。そこで岸田首相にはつきりと申し上げました。「そんなお金ありません。これは国の大事な国策なのでぜひ国の方で支援をしてほしい」と。そしたら、素晴らしい答えが返ってきました。

单年度予算の国なのに複数年かけて安定的に熊本県への支援を約束してくださいました。このように、創造的復興が着々とできましたが必ず知事には任期があります。私にもつとやりなさいつていう声が大きかつたんですけど、2023年の12月6日に、私は「次の選挙には出ない」と宣言しました。それは若くて有能力人が今の段階で後を繼いで、

ありがとうございました。

(了)

今からは皆さんが木村君と一緒に、ちゃんと正しい方向に行つて、かどうかを検証しながら、そして力強く支援して、そしていい熊本を作り上げてほしいと思います。みんなで作り上げるのが政治です。1人じやできません。それができてこそ逆境でもそれを乗り越えることができる。逆境の中でも夢を持つことができるのです。そして何よりも、災害のときにはみんなが考えなきやいけないのは、創造的復興です。これを成し遂げよう。そしたら、創造的復興の先に大きな花が咲くじゃないですか。それがTSMCです。そしてこれが日本を救うシリコンアーランド九州を作り上げることができ、その中心に熊本がなつていく。そういう気持ちで皆さんとともに、これからも熊本を盛り上げたいと思いますので、よろしくお願ひします。

した。またそのダムができる相良村に対しても同じ約束をしてまいりました。私の任期中に同意を得たいということをずっとと言つてました。そして皆さんもご存知の通り、五木村が決めてくださいました。私の任期中ではなかつたですがそれに限りなく近い段階で、五木村の村長がダム計画に同意した。お話しをする中で私が感じたのは、皆さんが思つてるのは、命か清流かどちらかではなく両方守つてほしいのが本音じやないかと思いました。そのためにはどうとしても流水型ダムが必要でした。

流水型ダムとは、いつも水はダムの下を流れてダムには溜まらないけど、ひどい雨が降り始めたらダムのゲートを閉めて水を溜め、ピークが過ぎた後放流する仕組みのダムです。そういう非常に環境に優しい流水型ダムを国に対してもう一つは肥薩線、元々JRはやりたくないと言つていましたが私は「いや、とても大事だからやりましょう」とお願いしました。これもJR九州にやつていただきとなりました。

ただ、私が一番苦労したのは、五木村の方々の同意をいただくことでした。五木村の皆さんは最初ダムを作ることに同意していましたが、その後私がダムを作らなければなりません。でも計算したら10年間で1000億円以上かかるのです。そんなお金はないかもしれません。これは国の大事な国策なのでぜひ国の方で支援をしてほしい」と。そしたら、素晴らしい答えが返ってきました。

单年度予算の国なのに複数年かけて安定的に熊本県への支援を約束してくださいました。このように、創造的復興が着々とできましたが必ず知事には任期があります。私にもつとやりなさいつていう声が大きかつたんですけど、2023年の12月6日に、私は「次の選挙には出ない」と宣言しました。それは若くて有能力人が今の段階で後を繼いで、

今からは皆さんが木村君と一緒に、ちゃんと正しい方向に行つて、かどうかを検証しながら、そして力強く支援して、そしていい熊本を作り上げてほしいと思います。みんなで作り上げるのが政治です。1人じやできません。それができてこそ逆境でもそれを乗り越えることができる。逆境の中でも夢を持つことができるのです。そして何よりも、災害のときにはみんなが考えなきやいけないのは、創造的復興です。これを成し遂げよう。そしたら、創造的復興の先に大きな花が咲くじゃないですか。それがTSMCです。そしてこれが日本を救うシリコンアーランド九州を作り上げることができ、その中心に熊本がなつていく。そういう気持ちで皆さんとともに、これからも熊本を盛り上げたいと思いますので、よろしくお願ひします。

このよき流れを強く大きく、そして50年後100年後の熊本を作り上げる、そういう人が次の知事になるべきだと思つたからです。そして、副知事であつた青年を私は支援いたしました。それが木村敬君です。彼は私の東大法学部教授時代にゼミ長をやつていたとても能な学生でした。彼だつたらきっと皆さんと一緒に熊本を盛り上げてくれると思います。皆さんのが選挙で彼を押し上げたように、ぜひ県民の皆さんと一緒に創造的復興をやり遂げていてほしいと思います。

令和6年度活動報告

回開催
出席42名（うち委任状15名）。
活動報告・收支決算、次年度計画・予算、正式英文名称を全会一致で承認。
・通常理事会・臨時理事会（計5回開催）

オンライン併用にて定期的に開催。会費制度、役員改選、基金管理、被災者支援などをを中心に審議。「素敵な経営者たちⅡ」の頒布や会員議員との連携も継続

・通常総会（令和6年6月4日／参議院議員会館）

本会は令和6年度に以下の通り、通常総会および理事会を開催し、事業運営や会費に関する重要事項について審議・報告を行いました。



7年度総会風景

役員体制（令和7年度～8年度）

役職(名)	氏名	備考
理事（北海道・東北）	大井 寿吾	秋田県国際農業者交流協会 再任
理事（関東甲信静越）	高見澤 宣男	長野県国際農友会会長 再任
理事（東海・近畿・北陸）	岩田 雅昭	三重県国際農業者交流協会会长 新任
理事（中国・四国）	檜垣 真城	愛媛県国際農業者交流協議会参与 再任
理事（九州）	五嶋 義行	元熊本県国際農友会会長 再任
理事（中央）	椎橋 美孝	埼玉県海外派遣農村青年協議会会长、再任
理事（中央）	森永 大直	米国講習所長経験者 再任
理事（中央）	藤田 春恵	岩手県国際農友会理事 再任
理事（中央）	木村 智子	山口県国際農業交流協会会长 再任
理事（中央）	藤森 英明	東京国際農業者協会 会長
監事	栗田 賢	広島県国際農友会顧問 再任
監事	平井 貞夫	滋賀県国際農友会顧問 再任
顧問	本田 聰盈	学識経験者 再任
顧問	井上 源一	学識経験者 再任
顧問	本間 淳	学識経験者 再任
顧問	星 智宏	学識経験者 再任
顧問	坂元 良二	元（公社）国際農業者交流協会 常務理事 新任

また、互選により会長、副会長が選出されました。

会長	檜垣 真城
副会長	椎橋 美孝
副会長	高見澤 宣男

2年間どうぞよろしくお願いします。

統的に報告・検討。

■日本農業への提言活動

- 各ブロックでの国際化対応常農研究会に協力し、テーマ提案や成果とりまとめを実施。
- 国政への政策提言活動として、関連議連等への情報提供や意見発信を行い、6月4日開催の国際農業人材育成議連総会には国際農友会会員34名が出席しました。

■担い手育成・確保への支援

- 海外農業研修生事業において、研修生の発掘、渡航前指導、広報などに協力。
- 新規就農支援では、農業実習の受入を中心にOB・OGへのフォローを継続しました。

■会員活動・広報

・会報「ニユーフアーマーズ」を

- ・その他の取り組み
- ・研修生帰国後の所属組織確認と記念品贈呈、代々木のオリエンピックセンターでの帰国歓迎会などを実施。
- ・若手OB・OGの活動参加促進やHPを活用した情報共有の活性化策を模索。

夏季号・新年号で発行（紙媒体）。

Facebookでの情報発信を強化し、OB・OGの意見交換を活性化。

各地の国際化対応常農研究会（5ブロック）に助成。併せて会長・事業担当者会議も開催。

能登半島地震の被災OB・OG支援として64万円の義援金を呼びかけ、贈呈。

・素敵な経営者たちII（DVD付）の販売促進を継続し、農業人材育成のPRに活用。

**週刊月4回 金曜日発行
月額700円、年額8,400円**

■お申し込みはお住まいの市町村農業委員会へご連絡ください

[発行所] 一般社団法人全国農業会議所

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8中労基協ビル
電話：03-6910-1130(平日9:00～17:00、土・日・祝日は休み)
ホームページ：<https://www.nca.or.jp/shinbun/>

パソコン・タブレット・スマホでいつでもどこでも新聞が読める

電子版を配信中!!

月4回・毎週金曜日・午前0時配信 購読料 月額500円・年額6,000円

全国農業新聞

検索



クレジットカード払いのみでのお支払いとなります



仲間たちの商品紹介

ここでは、海外農業研修の仲間たちの商品紹介をします。
オンラインでの購入が可能です。



梶島冰菓

梶島 大翔(福岡県/H29/アメリカ)



梶島冰菓

梶島冰菓のアイスキャンディー

こんにちは、梶島大翔です。私は福岡県柳川市で米麦・果樹の農家の2代目をしていますが、アメリカ研修の経験を活かして家業に新たな風を吹き込むべくコーヒーの栽培にも挑戦しており、「地域の魅力を“味”で伝えることができたら」と考えています。そして、我が家では、2011年から梶島製菓も手掛けています。なかでも人気なのが、昔懐かしい手づくりのアイスキャンディーです。一本一本丁寧に仕上げられたアイスは、素朴ながら素材の味がしっかりと感じられ、子どもからお年寄りまで幅広い世代に愛されています。パッケージもレトロで愛らしく、近年では観光客からのお土産需

要も増加しています。柳川観光の途中で立ち寄る人も多く、まさに地域とともに歩むブランドです。

農業研修で得た国際的な視野と、地元への深い愛情を融合させる挑戦は、これから



の農業や地域産業のヒントにもなります。昔ながらの味と新たな感性が交わる梶島製菓のアイスキャンディー、ぜひ一度ご賞味ください。



KOPPARI(コッパリ)

宇根 和孝(沖縄県/H29/アメリカ)



私は、沖縄県石垣市にて肉牛を育てていますが、地域のための取組として、フードロスをなくす取り組みの一環として、石垣島のおいしいフルーツを特殊冷凍技術で加

工して販売しています。フレッシュなフルーツを瞬間冷凍しているので、香りと味が特別だと評判の商品になっています。

普段、牛飼いとして日々を過ごしていますが、コロナ禍で流通が滞って多くの果樹農家が悩んでいるのを目の当たりにしたのをきっかけに、フルーツの冷凍加工販売を開始しました。「身近な海外」のような石垣島。海で一日ぼーっとしたり、土を触ったり、いろんな非日常体験をこの島ができると思うので、ぜひ遊びに来てください。

< KOPPARI のワンポイント >

- ・島の言葉で「固まる」を意味するコッパリをブランド名へ
- ・特殊冷凍技術を使用した規格外フルーツの活用事業（去年からパイナップル栽培もスタート）

- ・島内ホテル、飲食店との企画から提携農家の収穫
- ・栽培管理までサポート
- ・商品は、EC サイト、または、ふるさと納税で。



ときわオンライン



楽天市場



「土からの学び」

幼児から研修生まで、その「やろう！」とする気持ちを育み伸ばします!!

森永 大直 (大分県 / S63/ 米 2)

- 森永農園 園主：梨の生産、販売、作業受託
- JAEC:US西日本講習所長
- 国際農友会理事
- 大分県国際農友会事務局長
- 学研教室指導者：庄内元気な教室 / ゆふいん元気な教室
- 雲取神楽社 副代表
- 由布市消防団 庄内方面隊 第5分団長



★商品紹介の希望者募集します★

海外農業研修OB・OGの皆さんで、ぜひ全国の仲間にご紹介したい、買ってほしいとお考えの方はいませんか？国際農友会では、仲間の素敵な生産物を色々な形で応援したいと考えています。自薦他薦は問いませんので、ぜひご一報ください。次号は1月号になりますので、お歳暮に良い品、あるいは、冬から春にかけて旬を迎えるものなど、ご紹介いただけたると良いかと思います！もちろん、食べ物とは限らずなんでも取り上げます。ご連絡お待ちしています！

【連絡先】

国際農友会事務局（国際農業者交流協会内）担当 皆戸
電話03-5703-0253 Email: kaito@jaec.org

会員のひろば 会員の動向 (敬称略、順不同)



同期会

昭和52年度欧州22回生 欧州谷宮会

【開催日】2024年7月5日、6日
【開催地】北海道網走市



マツダ農場ボス夫妻を 囲んでOB会

【開催日】2025年2月15日
【開催地】和歌山県根来OB宅



平成14年度欧州農業 研修生同期会

【開催日】2025年2月15日
【開催地】東京都八重洲口



平成15年度 欧州研修生同期会

【開催日】2025年2月22、23日
【開催地】静岡県熱海市



昭和61年米国2年制 22回生同期会

【開催日】2025年2月22日
【開催地】愛知県内海海岸



令和4年度欧州研修生 同期会

【開催日】2025年3月
【開催地】東京都大田区



平成16年度 渡米20周年同窓会

【開催日】2025年3月30日
【開催地】大阪



昭和43年度米国2年制 4回生同期会

【開催日】2025年6月13日
【開催地】北海道札幌市



ご逝去

平成25年10月 金指 恒男(静岡県/S29/米1)
令和元年 菅原 澄雄(岩手県/S32/米3)
令和2年3月 中村 静雄(茨城県/S40/米2)
令和2年4月 鈴木 久生(三重県/S39/米1)
令和2年 丸川 清次(三重県/S33/米3)
令和4年1月 渡辺 林造(福島県/S33/米3)
令和4年8月 望月 道彦(長野県/S38/米3)
令和4年9月 溝邊 敬美(宮崎県/S43/米2)
令和5年 永村 重信(鹿児島県/S38/米3)
令和5年 岩沢 博(千葉県/S40/米1)
令和5年 谷岡 力(愛媛県/S43/米2)
令和5年 仲里 浩信(沖縄県/S63/ハワイ)
令和5年 大城 隆(沖縄県/S46/米2)
令和5年4月 桑木野 稔(鹿児島県/S34/米3)
令和5年4月 斎藤 安彦(群馬県/S43/米2)
令和5年10月 原田 稔(神奈川県/S35/ブラジル)
令和6年 室伏 和夫(神奈川県/S40/米1)
令和6年 渡部 壽嗣(愛媛県/S38/米1)
令和6年 佐藤 滋(宮城県/S31/米3)
令和6年 宮本 喬輔(佐賀県/S35/米1)

令和6年 高橋 正隆(愛媛県/S40/米2)
令和6年3月 吉田 一郎(富山県/S40/米2)
令和6年4月 船山 幸男(秋田県/S40/カナダ)
令和6年4月 斎田 昇次郎(福岡県/S35/米3)
令和6年5月 大嶋 真純(長野県/S32/米3)
令和6年9月 高橋 惣一(宮城県/S41/米2)
令和6年9月 平谷 利昭(鹿児島県/S34/米3)
令和6年10月 中元 邦年(愛媛県/S48/米2)
令和6年10月 藤田 悟(栃木県/S29/米1)
令和6年10月 上鶴 四夫(カナダ/S40/米2)
令和6年1月 岩野 高士(長野県/S34/米3)
令和6年11月 浦田 長保(奈良県/S38/イス)
令和6年12月 飯嶋 和夫(茨城県/S32/米3)
令和6年12月 山下 文作(兵庫県/S32/米1)
令和6年12月 中村 辰道(山口県/S38/米3)
令和7年1月 加藤 文夫(千葉県/S38/米3)
令和7年1月 藤井 隆治(福島県/S31/米3)
令和7年1月 美喜 英雄(徳島県/S38/米3)
令和7年2月 満山 喜和(福島県/S29/米1/S31/米3)
令和7年3月 池田 秀郎(大分県/S31/米3)

令和7年3月 和久井 武(栃木県/S38/米1)
令和7年5月 富田 瞳夫(熊本/S58/デンマーク)
萩原 健(北海道/S31/全米)
中沢 勝三(長野県/S34/米3)
作山 重夫(岩手県/S32/米3)
松野 義直(愛知県/S41/米1)
佐藤 光(栃木県/S32/米3)
泊 澄彦(鹿児島県/S32/米3)
西村 詔八(宮崎県/S38/米3)
佃 正見(愛知県/S38/米3)
松本 修三(佐賀県/S50/米2)
岡村 征夫(岡山県/S40/米1)
上田 則男(鹿児島県/S31/米3)
藤島 喜郎(山口県/S31/米3)
遠藤 貢(秋田県/S31/米3)
栗畑 哲雄(山口県/S43/米2)
菊地 七喜(岩手県/S43/米2)
高島 好和(北海道/S43/米2)
峯 正昭(香川県/S43/米2)

叙勲・受賞

令和6年 第72回神奈川県優良産業人表彰
長島 勝美(神奈川県/H6/ドイツ)
令和6年 国産紅茶グランプリ 2024 in 尾張旭
グランプリ受賞
伊達 亀嘉(三重県/S50/米1)
令和6年 第54回日本農業賞大賞 M.A.C.Orchard
飯野 公一(山梨県/S54/米2)
飯野翼(山梨/H29/アメリカ)
令和6年 第34回花の国づくり共励会
花き技術・経営コンクール 農林水産大臣賞受賞
佐藤 黜(群馬県/S59/米2)

令和6年 藍綬褒章(自然保護功績)
佐佐木 幸雄(鳥根県/S47/米2)
令和6年 行政相談委員総務大臣表彰
鮎川 英哲(山梨県/S45/米2)
令和7年 第46回茨城県花の展覧会 県知事賞受賞
大内 広明(茨城県/H18/ドイツ)
令和7年 春の叙勲 旭日単光章受賞
川名 正幸(千葉県/S45/米2)

編集後記



Chat GPTしかりたくさんの生成AIが実用化されて、それぞれ試すのが面白い。画像生成から、文章作成や外国語の校正など利用価値は無限!もっと勉強したいです!